

GZZ-SH59-32A<1YB0>

マスクROM番号	
----------	--

三菱シングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M37540M2V-XXXXFP/GP  
マスク化確認書

受 付 欄	年	月	日
	課長印	担当者印	

(注) ※印をすべて記入ください。

※ 貴社 記入欄	貴社名	殿	TEL ( )	発 行 印	責任者印	担当者印
	発行日	年	月		日	

※1. ご確認表

発注される品種名および提出いただくEPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合1パターン当たりフロッピーディスクが1枚必要になります。

□EPROMの場合

当社では提出いただいた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくEPROMデータの内容については十分に確認をお願いします。

マイクロコンピュータ形名                      □M37540M2V-XXXXFP                      □M37540M2V-XXXXGP

EPROMの全領域のチェックサムコード    

--	--	--

 (16進表示)

EPROMの種類

□27C256	□27C512
アドレス 0000 <sub>16</sub> 000F <sub>16</sub> 0010 <sub>16</sub> 607F <sub>16</sub> 6080 <sub>16</sub> 7FFD <sub>16</sub> 7FFF <sub>16</sub> 7FFF <sub>16</sub>	アドレス 0000 <sub>16</sub> 000F <sub>16</sub> 0010 <sub>16</sub> E07F <sub>16</sub> E080 <sub>16</sub> FFFD <sub>16</sub> FFFF <sub>16</sub> FFFF <sub>16</sub>
製品名 M37540M2V- のASCIIコードを 入れる領域	製品名 M37540M2V- のASCIIコードを 入れる領域
データ	データ
ROM(8K-130) 64bit	ROM(8 K-130) 64bit

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は  
左記の製品形名領域にはデータを入れな  
いで下さい。

マイクロコンピュータのアドレス空間上、内部ROM領域としてE080<sub>16</sub>~FFFD<sub>16</sub>番地以外は使用することができません。なお、本製品のリセットペクトルはFFFC<sub>16</sub>、FFFD<sub>16</sub>番地に格納します。

- (1) 斜線部分には“FF<sub>16</sub>”を入れてください。
- (2) 0000<sub>16</sub>~000F<sub>16</sub>番地は製品形名のデータ格納領域です。

‘M37540M2V-’のASCIIコードを右記に示しますので、0000<sub>16</sub>~000F<sub>16</sub>番地には必ず右記のデータを書き込んでください。

番地、データとも16進表記です。

アドレス

0000 <sub>16</sub>	’ M ’ = 4D <sub>16</sub>
0001 <sub>16</sub>	’ 3 ’ = 33 <sub>16</sub>
0002 <sub>16</sub>	’ 7 ’ = 37 <sub>16</sub>
0003 <sub>16</sub>	’ 5 ’ = 35 <sub>16</sub>
0004 <sub>16</sub>	’ 4 ’ = 34 <sub>16</sub>
0005 <sub>16</sub>	’ 0 ’ = 30 <sub>16</sub>
0006 <sub>16</sub>	’ M ’ = 4D <sub>16</sub>
0007 <sub>16</sub>	’ 2 ’ = 32 <sub>16</sub>

アドレス

0008 <sub>16</sub>	’ V ’ = 56 <sub>16</sub>
0009 <sub>16</sub>	’ - ’ = 2D <sub>16</sub>
000A <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000B <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000C <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000D <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000E <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000F <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>

GZZ-SH59-32A<1YB0>

マスクROM番号	
----------	--

三菱シングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M37540M2V-XXXXFP/GP  
マスク化確認書

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込むEPROMの種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの0000<sub>16</sub>~000F<sub>16</sub>番地に形名のASCIIコードを書き込むことができますのでご利用ください。

EPROMの種類	27C256	27C512
ソースプログラムへの記述	△*△ \$ 8000 △.BYTE△ 'M37540M2V-'	△*△ \$ 0000 △.BYTE△ 'M37540M2V-'

(注) EPROMに書き込まれた形名とマスク化確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確に形名記入をお願いします。

□フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティーで生成されたマスクファイル処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、フロッピーディスクに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

マイクロコンピュータ形名  M37540M2V-XXXXFP  M37540M2V-XXXXGP

ファイルコード 

--	--	--	--	--	--	--	--

 (16進表示)

マスクファイル名 

--	--	--	--	--	--	--	--

 .MSK(英数字8桁)

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は、製品形名を入れないで下さい。

下記のROMデータ領域以外には、データを入れないで下さい。

ROMデータ領域・・・E080<sub>16</sub>番地～FFFD<sub>16</sub>番地

※2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)にご記入の上、本マスク化確認書に添付して提出ください。

M37540M2V-XXXXFPの場合は36P2R-Aの、M37540M2V-XXXXGPの場合は、32P6U-Aのマーク指定書を提出ください。

